

## 外部フラッシュ定義エディタ (EFE) V.1.00 Release 00 ご使用上のお願い

外部フラッシュ定義エディタ (EFE) V.1.00 Release 00の使用上の注意事項を連絡します。

- JEDECロック機能をサポートしていないデバイスに関する制限事項
- バイエンディアンMCUを使用する場合の注意事項

### 1. JEDECロック機能をサポートしていないデバイスに関する制限事項

#### 1.1 関係する製品

以下のいずれかのエミュレータデバuggaと共に使用する場合、本内容に該当します。

- RX E1/E20エミュレータデバugga V.1.00.00 ~ V.1.02.00
- RX E100エミュレータデバugga V.1.00.00
- R32C E30Aエミュレータデバugga V.1.02.00

#### 1.2 内容

ロック機能をサポートしていないJEDEC規格デバイスへ書き込む場合は、外部フラッシュ定義エディタで、擬似的にロック解除を指定する必要があります。

デバイスがロック機能をサポートしているか否かは、デバイスマニュアルにロックコマンドが記載されているか否かで判断できます。ロックコマンドがサポートされている場合は、以下のとおり記載されています。

コマンドシーケンス :

第1サイクル 第2サイクル 第3サイクル 第4サイクル

-----  
アドレス    555H            2AAH            555H            ブロックアドレス  
データ        AAH            55H            48H            X1H / X0H

以下に外部フラッシュ定義エディタで擬似的にロック解除を指定し、デバッガで利用するための手順を示します。

- (1) 外部フラッシュ定義エディタのUSDファイル生成タブにあるロックビット解除チェックボックスをチェックして生成したUSDファイルを使用する。
- (2) デバッガ起動時に表示されるダイアログボックスで「全セクタ消去後に書き込む」チェックボックスはチェックしない。  
このチェックボックスの詳細については、各エミュレータデバッガのユーザーズマニュアルを参照してください。

なお、全セクタ消去後に書き込みをする場合は、コマンドラインインタフェースで、フラッシュメモリのチップイレーズコマンドを発行した後に、目的のプログラムまたはデータを外部フラッシュへダウンロードしてください。

## 2. バイエンディアンMCUを使用する場合の注意事項

### 2.1 関係する製品

以下のいずれかのエミュレータデバッガと共に使用する場合、本問題に該当します。

- RX E1/E20エミュレータデバッガ V.1.00.00 ~ V.1.02.00
- RX E100エミュレータデバッガ V.1.00.00

### 2.2 内容

バイエンディアンMCUをビッグエンディアンで動作させる場合、カスタムプログラムは使用できません。

### 2.3 回避策

カスタムプログラムを使用する場合には、リトルエンディアンで動作させてください。

ビッグエンディアンで動作させる必要がある場合は、以下のWebサイトからお問い合わせください。

技術問合せ：<https://www.renesas.com/support/contact.html>

### 2.4 恒久対策

検討中です。ツールニュースで案内する予定です。

**RX E1/E20エミュレータデバッガ V.1.03.00 で改修しました。(2012/11/1追加)**  
詳細はこちら。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=121016tn5>

**[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.